

端午の節句

5月5日(木)



菖蒲湯

菖蒲湯
とは...

江戸時代に5月5日を尚武の節日として、祝うようになったのがはじまり。
武家社会で菖蒲が尚武(武道・武勇を重んじる)に通じることから、
「立派に成長してほしい」と願いを込めて、
端午の節句のこの時期に菖蒲湯に入るようになりました。
菖蒲の持つ強い香りが邪気を払うとされており、厄除けともされています。

